

# 第1回徳島市行財政健全化市民会議 会議録（要約）

平成17年4月26日(火)午後1時30分～3時30分  
徳島市役所 8階 庁議室

## 1 開会

## 2 委嘱状交付

（事務局）

石田委員から名簿順に、委嘱状を交付した。

## 3 委員並びに事務局紹介

（事務局）

【資料1】により、市民会議委員10名、事務局を紹介した。

## 4 市長挨拶

（事務局）

原市長あいさつ

## 5 行財政健全化市民会議設置要綱について

（事務局）

【資料2】により説明した。

## 6 会長選出

設置要綱の第4条2項の規定より委員の互選により、福岡登委員（四国大学長）に決定した。

## 7 会長挨拶

（委員）

福岡会長あいさつ

## 8 副会長指名・副会長挨拶

設置要綱の第4条4項より会長が元木康浩委員（徳島商工会議所青年部直前会長）指名した。

（委員）

元木副会長あいさつ

## 9 講演

「行財政健全化で今考えなければならないこと」

香川大学大学院地域マネジメント研究科教授 三好勝則氏による講演

## 10 状況説明

「徳島市の財政を取り巻く状況について」

（事務局）

【資料4】により、本市を取り巻く財政状況について説明した。

(委員)

特別企業会計繰出金とはどういうものなのか。補填なのか。

(事務局)

それは、会計の性質にもよるが、例えば、水道事業では企業会計という形をとっているが、消防のための消火栓の設置・管理経費が必要な場合、それを水道料金に転化するのは適当ではないので、一定の負担区分があり、その負担区分に応じて市の一般会計から予算を他の会計に繰り出ししている。

また、園瀬病院の方は経営的に厳しいものがあり、収支差を市の一般会計の方から繰出金として経営補填している状況である。繰出金の経費別の用途としては、水道会計のように消火栓設置・管理経費に充てるための特定財源であったり、園瀬病院のように収支ギャップを穴埋めするため用途が決まっていない一般財源として充当されるケースもある。

(委員)

市債残高と償還金の関係について、元金償還額と金利はどれくらいあるのか。

(事務局)

平成17年度予算では、公債費103億円で元金利子が含まれているので、そのうち、元金償還が80億円程度である。

## 「行財政健全化の基本方針について」

(事務局)

【資料5】により、本市の行財政健全化の基本方針について説明した。

(委員)

民間委託、委託管理、またはアウトソーシングによって効率化された市職員の業務を重要な業務へシフトすることが必要である。ただ単に事務の軽減だけでは、職員が

楽になるだけではいけない。トータルのメリットが一番大切である。

また、義務的経費に占める人件費の割合の高さ24%が他の県庁所在地と同じぐらいに下げていけるのか、人件費全体のコスト縮減につながるのか是非チェックしていただきたい。

## 11 その他

### 市民会議の開催スケジュールについて

(事務局)

【資料6】により、市民会議の開催スケジュールについて説明した。

## 12 閉会

以上